

機械器具 68 印象採得又は咬合採得用器具
一般医療機器 歯科用顔弓 JMDN35700000

エステティック・フェイス・ボウ

【形状・構造及び原理等】



- ③ バイトフォークは高压蒸気滅菌は精製水を使用し、115～118℃で30分、121～124℃で15分、126～132℃で10分、いずれかの条件で行なうこと。なお、滅菌の為にセット・包装にあたっては、確実に滅菌できるよう配慮すること。また、滅菌後は、十分乾燥させること。なお、アルコールを使用した高压滅菌、乾熱滅菌は、劣化の原因となるため使用しないこと。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元・製造元 株式会社 シオダ
電話番号 0287-88-2288

材質:アルミニウム、ステンレス鋼、真鍮、POM

【使用目的又は効果】

歯科用フェイスボウ

【使用方法等】

- 1) 患者の正中長軸線をあらかじめマークする。また、リファレンス・ポインターが指示する前方基準も同様にマークする。
- 2) バイトフォークに軟化したパラフィンワックス等を巻きつけ、患者の前面の正中ラインを生体正中に位置づけ、咬合させ保持する。
- 3) フェイス・ボウ本体は、スライド式のため顔面幅径に合わせ、イヤープースを患者の外耳道に入れ、スライド固定部の固定ネジで固定する。バイトフォークと連結する。
- 4) 前方基準点にリファレンス・ポインターを一致させるための高さ調節を行う。
- 5) 正中長軸指示弓を正中位置調節機構、水平調節機構で調整し患者の正中長軸線に合せる。
- 6) 各ネジ部を完全に固定するようしっかり締める。
- 7) フェイス・ボウ本体のスライド固定ネジを緩め、本体を開き、外耳道からイヤープースを外し、口腔外に一体で取り出す。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- ① 上記に定めた使用目的以外の目的で使用しないこと。また、破損等の原因になり得るので必要以上の応力を加えないこと。
- ② 上記に定めた操作方法、使用方法を守り、それ以外には使用しないこと。
- ③ 破損や事故等の原因となるので、曲げ、切削、打刻等の2次加工(改造)は絶対に行わないこと。
- ④ 長期の使用により磨耗等の劣化が生じるので、適時交換すること。
- ⑤ 本品の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた場合には、速やかに使用を中止し医師の診断を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ① 本品は、湿度が高くない場所にて保管・管理する。
[錆を防ぐため]

【使用期間】

- ① 本品を使用中に破損などのおそれのある場合には、直ちに使用を中止し、新しいものと交換すること。

【保守・点検に係る事項】

- ① 「もらい錆」を防ぐため、錆びている器具と一緒に保管しないこと。また、化学薬品といっしょに収納・保管しないこと。
- ② 使用前に、汚れ、傷、曲がり、破損等に異常がないか点検をすること。